

ジェネラル・ダイナミクス社
会長兼社長 ジョン・ジェイ・キフキンス氏に対する要請書

NAZI WAR CRIMES DISCLOSURE ACT

Declassified and Approved for Release
by the Central Intelligence Agency
Date: 2005

ジェネラル・ダイナミクス会社

会長兼社長 ジョン・ジエイ・ホプキンス 殿

貴下は去る一九五五年五月九日、ローレンス博士、ハフスタッド博士並びに貴社副社長ウエルシュ氏およびワイド氏らを審問来日以来、わが国政界、実業界、学界各代表と会見、講演、討論を通じて、原子力平和利用のため産業活動を続けられ、その超人的努力と誠意に対し、われわれは原子力平和利用懇談会を代表して、ここに深甚なる敬意と感謝の意を表するものである。

単にこれら個々の代表者達のみならず、わが国八千万同胞が、本原子力問題に対し、如何に絶大なる熱意と真摯なる関心を抱いているかということは、去る五月十三日、東京都専大の日比谷学生会における貴下らの演説会に、溢れ出た数千の大群衆と、聴衆全体のあの緊張し、感動した真摯なる眼が、最健なく物語つたものと確信する。

特に重大なことは、来日以來一週間を出でずして、急速に最上つた指導者および大衆全般の

特許と特許力、蒸気船山内特許をして、困難を予想された造船ウラニウム受人問題の正式決定を
可とし、我國との双務協定成立に動き出した事實である。このことばまさに實下の使節團が
生んだ、最初にして、しかも最も根本的の重要性をもつた成果に他ならぬ。それと併行し、わ
れわれが民間代表による懇談会を設立した如く、懇談会においても、私營的の原子力平和利
用委員会を設立し、立法上、予算上の積極的措置を図ることとなり、そのための上下両院共同
による原子力平和利用促進決議案が將に上程されようとしている事實は、また最も重要な故
因の一つである。その上更に、貴下らとの結合を通じて、貴國より研究費と原子力知を速かに
贈入せんとする予算上の措置も講ぜられようとしている。かくして、我が國學界並びに産業界
の自主研究と相まつてここに日本の新しい、輝ける將來への希望を抱き得るようになったこと
を心から慶ぶる。

我が國においても原子力発電については早急施設研究の必要を痛感するものであり、且つ我
國の如く、その力の開発ばかりでなく、医学、農業、工業、科学技術全般への活用と増進を急

に実現出来るよう、われわれは最大の努力を傾倒せんとするものである。

かくしてわれわれは、広汎なる原子力計画の一端を担い、アジア十億同胞の貧困と病苦を解放し、以つて友愛に満ちた世界を再建せんとする真摯なる願望に立つものである。

しかしながら御承知のごときわが国政治および経済の状況下において、かかる偉大なる理想を実現に向かわせることは決して容易なる業ではない。しかしわれわれは、これが今世紀最大にして、しかも最善の道であることを、十分承知している。のみならず、これがまた深刻なる冷戦下における、われわれのなし得る、最大の義務であるとすら察しているものである。したがつてわれわれはあくまでこれが究極に到達せんとする、確乎たる決意を新たにされた次第である。

しかしこれが成功のためには、貧乏ならびに貧困の苛重なる協力と援助なくしては、到底なしうることでないことは、御承知の通りである。その最初の直接的援助と援助の印として、われわれが聞くごとく、本格的原子力発電が貴国によつて長期費弁されるならば、たとえ一かに

いかなる批判があろうとも、大多数の同胞がいかん攻撃をするか、固く知らざるものがある。それはまたお互いに選挙の運動を専ら、權を執りて福を奪ひ取る事もある。所謂國民が其國の運命と義務を自覚し、一國その獨特能力を認める、固くし固く其義務の運命を認むるものと確信される。なお一部には特定の團體場所を名を挙げて力圖されている時もある中に剛くが、受人態勢については、わが國民大家ならびに政府の考慮に任される方が、固く其結果的かと思われる。わが國民千力時代の出場のための大なる闘い本として、これが是れとも表現するより、貴下の特別なる御考慮と御努力を感謝するものである。

新しい歴史創造のために扱われた貴下らの真摯なる努力と好意を感謝する八千万國民と本懇談會を代表して、ここに改めて最高の敬意と最大の謝意を表する次第である。

一九五五年五月二十日

原子力平和利用株式会社代表
議長 新開社主
日本テレビ放送網株式会社社長
兼 院 議員

原子力平和利用懇談会世話人
經濟団体連合会 会長
昭和電工株式会社 会長
内閣原子力利用準備委員会委員

日本商工会議所会頭
日東化学工業株式会社社長
大日本製糖株式会社社長

日本経営者団体連盟代表常任理事
株式会社社長

電力松本
石川一郎
後山一
諸井 豊一

同

經濟 同友會 代表 理事

同

共立女子大学 名誉 教授 長
慶応義塾大学 總 長、相 談 役
王子、十條、本州三股 紙 株式会社 相 談 役

同

日 本 開 発 銀 行 總 裁

同

精 國 石 油 株 式 会 社 会 長
議 院 議 員

同

東 京 電 行 電 鉄 株 式 会 社 会 長
武 蔵 工 業 大 学 理 事 長

新 年 賀 詞
五 島 登 大

岡

電力中央研究所 理事 部長

岡

電機開発株式会社 総裁
電力経済研究所 理事 部長

岡

電氣事業連合会 会長
東京電力株式会社 会長

岡

株式会社安川電機製作所 会長
原子力発電資料調査会 会長

岡

東京芝浦電気株式会社 社長

石坂泰三
北川第五郎
菅野重之助
山本順造
石坂泰三

株式会社 日立製作所社員
内藤 正方 利用準備 正合
組合 組合 専門 役員

三菱電機株式会社社長

王子製紙工業株式会社社長

富士製鉄株式会社社長

昭和電工株式会社社長

同

同

同

同

同

倉田 隆雄
高橋 隆雄
永野 重雄
藤本 次郎

同

同和欽染株式会社社長
内閣原子力利用準備委員会
総合部会専門委員

同

科学研究所会長
工東京大学名誉教授
工学博士

同

工東京工業大学学長
工学博士

同

資源調査会副会長
工東京大学生産技術研究所教授
工学博士

同

日本赤十字社中央副社長
工東京大学名誉教授
工学博士

倉島有平

亀山直介

内口俊一

安藝敏一

都築正男

工学博士
大阪大学
名誉教授
大森秀八

大森秀八